

学校教育目標「認めあい 支えあい 高め合う」



あゆみ

令和8年度9月号
令和8年9月1日発行

八潮市立八潮中学校
八潮市中央1-1-2
TEL:048-996-4219
生徒数 543人

「為せば成る 為さねば成らぬ」

校長 市川 真志

40日以上あった夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。皆さんにとって、どのような夏休みだったでしょうか？ぜひ、先生たちにもいろいろな思い出を教えてください。この夏、日本全体を見渡すと、熊本での地震・千葉や福井等での豪雨など、自然災害が多い夏休みになってしまいました。被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。私たちが住むこの地域でも、自然災害はいつ起こってもおかしくありません。過去の経験を生かし、日頃からしっかり備えていきましょう。



さて、2学期は1年の中で最も長い学期です。体育祭や合唱コンクールなど、大きな行事も予定されています。この2学期を充実したものにするために、皆さんには「目標」を持って「挑戦」してほしいと思っています。ここで、私の心に残っているある言葉を紹介합니다。

「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」

これは、江戸時代の米沢藩主・上杉鷹山(うえすぎ ようざん)の言葉です。意味は、「どんなことでも、やろうと思って行動すればできる。逆に『無理だ』と思ってやらなければ、何もできない。できないのは、やる前にあきらめてしまうからだ」ということです。私がこの言葉を初めて知ったのは、皆さんと同じ中学生の時でした。当時、勉強も運動もあまり得意ではなかった私は、実はこの言葉をすぐには信じられませんでした。心のどこかで「どうせ自分には無理だろう」と思っていたからです。でも、「やらなければ絶対にできるようにはならない」という部分には、強く納得しました。「まずは『やろう』と思わないと始まらない」ということが、よく分かったのです。当たり前のことのように思えますが、私たちはつい忘れてしまいがちです。まずはやってみる。やってみても、うまくいかないことはあるかもしれませんが、でも、できることだって必ずあるはず。挑戦してみないことには、何も始まりません。

2学期には「体育祭」や「合唱コンクール」をはじめ、部活動の新人大会、2回の定期テストなど、活躍の場がたくさんあります。「やればできる。やらなければできない」という言葉を胸に、ぜひいろいろなことに挑戦してください。たとえ思い通りの結果にならなかったとしても、挑戦すれば必ず「やって



よかった」と思える経験や成長が得られます。実行委員、リーダー、係の仕事など、どんなことでも構いません。自分にできることを見つけて、一生懸命やり切ってみてください。きっといつか、上杉鷹山の言葉を心から実感できる時がくるはずです。皆さんの「挑戦」を、八潮中の先生たちは全員で応援し、見守っています。